

平成 2 5 年 度

一般財団法人下関市公営施設管理公社

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

一般財団法人下関市公営施設管理公社

目 次

平成25年度 事業計画書及び収支予算書

○ 事業計画書	1
○ 収支予算書	3
○ 実施事業等会計内訳、その他会計内訳、法人会計内訳	
○ 実施事業等会計内訳	
実施事業	4
○ その他会計内訳	
1. 火の山地区観光施設	6
2. 下関市火の山ロープウェイ	8
3. 下関市勤労青少年ホーム	10
4. 唐戸市場駐車場	12
5. 下関市長府体育館（長府運動場）	14
6. 下関市市民プール（長府扇町運動広場）	16
7. 下関市彦島体育館 （下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）	18
8. 下関市立美術館	20
9. 下関市勤労者総合福祉センター	22
10. 長府庭園	24
11. 下関市ふれあい健康ランド	26
12. 長府毛利邸	28
13. 粗大ごみ等受付センター	30
14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場	32
15. 下関市満珠荘	34
16. 下関市営宿舎サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）	36
17. 売店	38
18. 駐車場	40
○ 法人会計内訳	42

事業計画書

1. 基本方針

一般財団法人下関市公営施設管理公社は、下関市と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設の管理運営について、下関市から指定管理及び委託を受け、施設の設置目的を達成することによって市民の福利厚生に寄与することを目的としている。

この目的を達成するため、下関市から指定管理及び委託を受けた施設の条例等による管理内容と公共性を十分理解し、施設の設置目的の実現に向け効率、効果的な事業運営に努める。

施設管理においては、「下関市環境方針」に基づき、省エネルギー、省資源、廃棄物減量など、環境への負荷低減に努め、適切な管理を行う。

公共施設の観点から、個人情報保護に関する法律及び「下関市個人情報保護条例」等、業務上知り得た個人情報の保護の重要性を認識し、その取り扱いを適正に行うことに努め、違反した職員に就業規則による罰則を適用すると共に、パソコン等情報機器等の防衛的技術対策を行う。

平成18年度から導入された指定管理者制度の趣旨を理解し、公益事業として施設管理、お客様に対する更なる提供サービスの向上と経費節減への取組みに努める。

規制緩和による競争、余暇の過ごし方の多様化、景気の減速等による利用者数の減少傾向等公社を取り巻く情勢が非常に厳しくなっている現在、全職員が経営環境を今まで以上に認識し、お客様が求める事業展開と健全な経営及び中長期に渡る経営計画の目標達成に努める。

2. 事業計画

平成25年度 一般財団法人下関市公営施設管理公社の事業は、次のとおり。

事業数は、実施事業等会計（1事業）、その他会計（18事業）、法人会計（1事業）、計20事業とする。平成25年度事業は、89名（職員63名、嘱託職員26名）の職員をもって実施する。

(1) 実施事業等会計

財団法人下関市公営施設管理公社が、一般財団法人へ移行することに伴う認可要件として、公益目的支出計画を作成することが必要であるので、管理運営を行う下関市満珠荘において自主事業として実施する。

(2) その他会計

指定管理事業及び業務受託事業（16事業）

下関市から指定管理及び委託を受けた公共施設等の管理業務について、お客様に満足していただくための運営に努める。

その他会計における指定管理施設及び受託施設

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設（※表示）
産業振興部 ・産業立地・就業支援課 ・市場流通課	・下関市勤労青少年ホーム（愛称：ユーパル下関） ・下関市勤労者総合福祉センター（愛称：下関アクティブセンター） ※唐戸市場駐車場
観光交流部 ・観光施設課 ・スポーツ振興課	※火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ・火の山立体駐車場） ※下関市火の山ロープウェイ ・長府庭園 ・下関市ふれあい健康ランド（愛称：ヘルシーランド下関） ・長府毛利邸 ・下関市長府体育館 ・長府運動場 ・下関市市民プール ・長府扇町運動広場 ・下関市彦島体育館 ・下関市彦島庭球場 ・彦島地区公園多目的広場 ・下関市営下関陸上競技場 ・下関市営庭球場 ・下関市体育館 ・下関市弓道場 ・下関市相撲場 ・下関市アーチェリー場 ・下関市向洋グラウンド ・下関市フットサル場

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設（※表示）
教育委員会 ・美術館	※下関市立美術館
環境部 ・クリーン推進課	※粗大ごみ等受付センター
福祉部 ・いきいき支援課	・下関市満珠荘
菊川総合支所 ・地域政策課	・下関市営宿舍サングリーン菊川 ・下関市菊川温泉プール

売店事業（1事業）及び駐車場事業（1事業）

下関市から指定管理を受けた施設内等において、お客様へのサービス向上のため売店営業や自動販売機を設置する等の売店事業を行う。

また、山口県が所有する土地を借り受け、月極駐車場の管理運営として駐車場事業を行う。

(3) 法人会計

一般財団法人下関市公営施設管理公社の設置目的を達成するための部署として、また、下関市及び関係各機関と連携を図り、管理運営を行う各施設の効率的な運営に努めるために本社を設置する。

3. 管理運営

- (1) 下関市から指定管理及び委託を受けた各施設の管理業務について、下関市と連携を密にし、効率的な運営並びに利用者に満足していただくための運営に努める。
- (2) 業務遂行にあたっては、職員研修の実施により適切に指導し、敏速に処理をする。
- (3) 公金の管理及び指定管理料と受託料の執行については、安全かつ厳正を期する。
- (4) 職員の健康保持並びに職場環境の改善に努める。

平成25年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	実施事業等会計		その他会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	実施事業	施設管理	満珠荘	サングリーン 菊川	売店	駐車場	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
事業収益	900	514,960	116,818	151,626	13,651	6,120	803,175	0	0	804,075
管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	41,282	△ 41,282	0
雑収益	0	16	2	831	326	5	1,174	36	0	1,210
経常収益計	900	514,976	116,820	152,457	13,977	6,125	804,349	41,330	△ 41,282	805,297
（2）経常費用										
事業費	3,684	514,970	116,820	152,457	13,957	6,125	804,329		△ 41,282	766,731
管理費								43,292	0	43,292
経常費用計	3,684	514,970	116,820	152,457	13,957	6,125	804,329	43,292	△ 41,282	810,023
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
2. 経常外増減の部							0			
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額							0			0
当期一般正味財産増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
一般正味財産期首残高			△ 7,900		55,424	26	47,550	11,122		58,672
一般正味財産期末残高	△ 2,784	0	△ 7,900	0	55,444	26	47,570	9,160	0	53,946
II 指定正味財産増減の部							0			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,784	0	△ 7,900	0	55,444	26	47,570	9,160	0	53,946

平成25年度

実施事業等会計内訳

事業計画内訳書

収支予算内訳書

実施事業

事業計画書

下関市公営施設管理公社が、一般財団法人への移行することに伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第119条公益目的支出計画の作成に基づき、公社が保有する財産に相当する額を公益目的財産額として、計画的に公益の目的のために支出する計画を、下関市満珠荘にて実施事業として実施するもの。

1. ピラティス教室
2. 陶芸教室
3. プリザーブドフラワー・アレンジメント講座

実施事業等会計

実施事業

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
事業収益	900		900	
受講料	900			
経常収益計	900		900	
(2) 経常費用				
実施事業事業費	3,684		3,684	
2 給料手当	2,437		2,437	
4 退職給付費用	97		97	
5 法定福利費	146		146	
14 消耗品費	540		540	
20 保険料	54		54	
21 諸謝金	390		390	
22 租税公課	20		20	
経常費用計	3,684		3,684	
評価損益等調整前経常増減額	△ 2,784		△ 2,784	
評価損益等計	0		0	
当期経常増減額	△ 2,784		△ 2,784	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0		0	
経常外費用計	0		0	
当期経常外増減額	0		0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 2,784		△ 2,784	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	△ 2,784		△ 2,784	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0		0	
III 正味財産期末残高	△ 2,784		△ 2,784	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

平成25年度

そ の 他 会 計 内 訳

事 業 計 画 内 訳 書

収 支 予 算 内 訳 書

火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名、嘱託職員1名、合計4名をもって火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運營業務を行うが、職員2名については、主に下関市火の山ロープウェイ運行業務に従事し、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内（運休期間等）において、火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運營業務に従事することができる。繁忙期においては、日々雇用職員を職員補助として雇用する。

2. 営業時間（※市のイベント等により、開放時間等の変更あり）

下関市火の山パークウェイ・火の山立体駐車場

月 別	パークウェイ(上り)	火の山立体駐車場	パークウェイ(下り)	備 考
	開 放 時 間	閉 鎖 時 間	閉 鎖 時 間	
11月～2月	8:00～21:00	22:00	22:30	
3月～10月	8:00～22:00	23:00	23:30	
1月1日	5:00～21:00	22:00	22:30	元旦 早朝営業

年中無休：天候・路面状況等により通行規制、臨時閉鎖する場合がある。

3. 管理運営

- (1) 関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- (2) 火の山公園内にある公共の観光施設として、利用者に対する良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接客・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努める。
- (3) 施設等の巡視点検等を実施し、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、利用者の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、利用者には喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- (4) 下関市、火の山ロープウェイ運行に係わる市の職員と連携し、利用者の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- (5) 施設の機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等の火の山地区観光施設の維持管理については、効率・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と利用者の利便性の向上に努める。
- (6) 施設の立地条件等の特性を配慮した天候変化や路面状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、利用者の安全を第一にパークウェイ通行規制等、秩序ある維持管理を実施する。
- (7) 施設の消耗品等の補充・交換は、利用者の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を行う。
- (8) 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理に努める。
- (9) 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。

4. 設備管理

- (1) 利用者の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努める。
- (2) 施設内外、パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等は衛生管理に重点をおき、利用者への快適な施設提供に努める。
- (3) 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- (4) 設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努める。
- (5) 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 1. 火の山地区観光施設

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	13,835	13,717	118	
施設管理料	13,835	13,717	118	
経常収益計	13,835	13,717	118	
(2) 経常費用				
火の山地区観光施設事業費	12,715	12,525	190	
2 給料手当	9,663	9,622	41	
3 臨時雇賃金	612	490	122	
4 退職給付費用	253	259	△6	
5 法定福利費	1,473	1,451	22	
8 旅費交通費	90	91	△1	
14 消耗品費	0	20	△20	
22 租税公課	624	592	32	
火の山地区観光施設管理費	1,120	1,192	△72	
本社費	1,120	1,192	△72	
経常費用計	13,835	13,717	118	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市火の山ロープウェイ

事業計画書

1. 職員構成

職員2名をもって、火の山地区観光施設（下関市火の山ロープウェイ）の運行業務を行う。なお、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内（運休期間等）において、火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運営業務に従事することができる。

2. 営業時間（※市のイベント等により運行時間等の変更あり）

下関市火の山ロープウェイ 運行日数年間 194日（注）

月 別	運 行 時 間
4月1日(月)～11月24日(日)	10:00～17:00（夜間運行時：花火大会夜間運行8/13(火)10:00～21:00、夏季週末夜間運行8/3(土)、8/10(土)、8/17(土)、8/24(土)、8/31(土) 10:00～21:00、中秋の名月夜間運行9/19(木)10:00～21:00)
3月20日(木)～3月31日(月)	

定休日（予定）：毎週火、水曜日（祝日及び一部運転予定日除く）（注 市観光施設課による平成25年度ロープウェイ運行日程（予定）に基づくもので、平成25年度に実施される市の運行計画に対応するため、運行日程等を変更する場合がある。）

3. 管理運営

- （1）関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- （2）火の山公園内にある公共の観光施設として、利用者に対する良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接客・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努める。
- （3）施設等の巡視点検等を実施し、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、利用者の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、利用者には喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- （4）下関市、運行に係わる市の職員と連携し、利用者の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- （5）ロープウェイの機械設備等の保守点検等施設の維持管理については、効率・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は、直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と利用者の利便性の向上に努める。
- （6）施設の立地条件等の特性を配慮した天候変化や路面状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、利用者の安全を第一にロープウェイの運休等、秩序ある維持管理を実施する。
- （7）施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理に努める。
- （8）下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。
- （9）ロープウェイ乗客に、より快適な利用をしていただけるよう更なる運転技術の向上に努め、ロープウェイ営業スタッフ研修時に、設備説明、応急救助装置等乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時運転業務等協力し、観光施設としての向上に努める。

4. 設備管理

- （1）利用者の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努める。
- （2）施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- （3）ロープウェイ運行に係わる機械設備等の保守は、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑運行のための保守整備、安全運転を徹底、トラブル等発生防止に努め、緊急時に備えた応急救助装置点検、操作訓練等実施し対応体制に万全を期す。
- （4）設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努める。
- （5）防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 2. 下関市火の山ロープウェイ

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	5,872	5,759	113	
施設管理料	5,872	5,759	113	
経常収益計	5,872	5,759	113	
(2) 経常費用				
下関市火の山ロープウェイ事業費	5,405	5,253	152	
2 給料手当	4,353	4,226	127	
4 退職給付費用	138	139	△ 1	
5 法定福利費	647	628	19	
14 消耗品費	0	10	△ 10	
22 租税公課	267	250	17	
下関市火の山ロープウェイ管理費	467	506	△ 39	
本社費	467	506	△ 39	
経常費用計	5,872	5,759	113	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市勤労青少年ホーム

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業

- | | | |
|----------|------------------|-------------|
| (1) 開館時間 | 月曜日及び火曜日 | 13:00～21:00 |
| | 水曜日から土曜日まで | 9:00～21:00 |
| | 日曜日及び祝日(1月1日を除く) | 9:00～17:00 |
| (2) 休館日 | 12月28日から翌年1月4日まで | |

3. 管理運営

- (1) 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう文化講座の団体の誘致に努める。
- (2) 勤労青少年及び一般市民の交流を図り広く学習機会を提供し福祉の増進と健全な育成を資すること、また、地域の方々の交流の場として、文化講座を14講座開催する。
- (3) 平日の午前・午後の時間帯に部屋の稼働率を上げるため卓球教室、幼児を対象に、親子すくすく音楽教室を開拓し、増収・増員に努める。
- (4) グループ・クラブ活動に対して、合同委員会の開催及び発表会行事の補佐をし、施設利用が円滑に行えるように努める。
- (5) レクリエーションの指導等の健全な活動の場を与え、自主的な社会性を育み、生産性の向上を図る支援に努める。
- (6) 若者の出会いの場及び勤労青少年と地域との交流の場を提供し、自主事業を企画・開催し施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- (7) 40周年記念で勤労青少年登録団体と連携して、催し物を企画し集客に努める。
- (8) 文化講座等の自主事業により勤労青少年の利用促進を図るとともに勤労青少年登録者を募集し、団体活動に繋がるように努める。
- (9) 利用者へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り施設運営へ反映するように努める。
- (10) 安全な施設維持のため、施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (11) 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- (12) 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施、施設間の連携で知識の習得、技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- (13) 事故や災害等が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

4. 設備管理

- (1) 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、貯水槽清掃・害虫駆除等の衛生管理、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- (2) 館内の照明設備、軽運動室等について、適時点検を行い、利用者の安全確保に努める。

その他会計

施設管理 3. 下関市勤労青少年ホーム
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理事業	付随する自主事業	合計	指定管理事業	付随する自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	22,377	155	22,532	22,559	0	22,559	△ 27	
施設管理料	22,377	0	22,377	22,559	0	22,559	△ 182	
受講料	0	155	155	0	0	0	155	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	22,377	157	22,534	22,559	0	22,559	△ 25	
(2) 経常費用								
下関市勤労青少年ホーム事業費	19,682	153	19,835	21,847	0	21,847	△ 2,012	
2 給料手当	11,727	0	11,727	13,316	0	13,316	△ 1,589	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△ 7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	2,062	0	2,062	△ 237	
8 旅費交通費	57	0	57	77	0	77	△ 20	
9 通信運搬費	171	0	171	175	0	175	△ 4	
12 手数料	19	0	19	61	0	61	△ 42	
14 消耗品費	135	49	184	253	0	253	△ 69	
15 修繕費	365	0	365	365	0	365	0	
16 印刷製本費	39	0	39	10	0	10	29	
18 光熱水料費	2,520	0	2,520	2,538	0	2,538	△ 18	
19 賃借料	101	10	111	117	0	117	△ 6	
20 保険料	7	0	7	7	0	7	0	
21 諸謝金	0	33	33	0	0	0	33	
22 租税公課	722	5	727	789	0	789	△ 62	
25 委託費	1,569	0	1,569	1,645	0	1,645	△ 76	
27 行事費	34	0	34	34	0	34	0	
30 原材料費	0	56	56	0	0	0	56	
下関市勤労青少年ホーム管理費	2,695	4	2,699	712	0	712	1,987	
本社費	2,695	4	2,699	712	0	712	1,987	
経常費用計	22,377	157	22,534	22,559	0	22,559	△ 25	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

唐戸市場駐車場

事業計画書

1. 職員構成

職員4名をもって管理運営を行う。

但し、繁忙時（年末・年始、関門海峡花火大会、ゴールデンウィーク）等には、場内の安全管理と渋滞緩和のため、日々雇用職員を雇用して対応する。

2. 営業時間

入出場時間 0 : 0 0 ~ 2 4 : 0 0 （年中無休・24時間営業）

3. 管理運営

- (1) 下関市との連携を図り、管理運営に万全を期する。
- (2) 利用客に不快感を与えないよう接遇・サービス向上に努める。
- (3) 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努める。
- (4) 利用車両増による場内渋滞を緩和するため、事前精算等を実施することにより、入出庫の円滑化に努める。
- (5) 施設内の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (6) 職員の資質向上のため、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- (7) 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルによる対応を行なう。
- (8) パンフレットを設置して、利用者へ下関市の広報宣伝に努める。
- (9) 市外からの観光目的の利用者のため、市内全域のイベント・行事の情報を集めて周知する努力をする。
- (10) 場内及び周辺の清掃を適時行い、環境美化に努める。
- (11) 下関市と連携を図り、消火訓練及び避難訓練を実施する。

4. 設備管理

- (1) 清掃業務による環境整備、夜間機械警備の安全管理を業務委託により行う。
- (2) 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障の無いように努める。
- (3) 施設点検を行い安全管理に努める。

その他会計

施設管理 4. 唐戸市場駐車場
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	27,900	29,131	△ 1,231	
施設管理料	27,900	29,131	△ 1,231	
経常収益計	27,900	29,131	△ 1,231	
(2) 経常費用				
唐戸市場駐車場事業費	24,695	26,444	△ 1,749	
2 給料手当	15,515	17,580	△ 2,065	
3 臨時雇賃金	612	50	562	
4 退職給付費用	521	531	△ 10	
5 法定福利費	2,441	2,708	△ 267	
8 旅費交通費	37	6	31	
9 通信運搬費	79	79	0	
14 消耗品費	373	404	△ 31	
15 修繕費	84	84	0	
16 印刷製本費	2,462	2,385	77	
19 賃借料	26	26	0	
20 保険料	50	50	0	
22 租税公課	979	1,046	△ 67	
25 委託費	1,516	1,495	21	
唐戸市場駐車場管理費	3,205	2,687	518	
本社費	3,205	2,687	518	
経常費用計	27,900	29,131	△ 1,231	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

その他会計
 施設管理 5. 下関市長府体育館
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	18,489	18,672	△ 183	
施設管理料	18,489	18,672	△ 183	
経常収益計	18,489	18,672	△ 183	
(2) 経常費用				
下関市長府体育館事業費	18,387	18,328	59	
2 給料手当	11,607	11,480	127	
4 退職給付費用	391	398	△ 7	
5 法定福利費	1,825	1,790	35	
8 旅費交通費	17	18	△ 1	
9 通信運搬費	156	158	△ 2	
14 消耗品費	72	93	△ 21	
15 修繕費	1,000	1,000	0	
16 印刷製本費	32	43	△ 11	
17 燃料費	3	0	3	
18 光熱水料費	1,664	1,667	△ 3	
19 賃借料	26	95	△ 69	
20 保険料	100	108	△ 8	
22 租税公課	718	689	29	
25 委託費	776	789	△ 13	
下関市長府体育館管理費	102	344	△ 242	
本社費	102	344	△ 242	
経常費用計	18,489	18,672	△ 183	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市市民プール（長府扇町運動広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員1名、嘱託職員1名をもって市民プールと長府扇町運動広場の管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 下関市市民プール開催期間 7月13日から8月31日まで（50日間）
- (2) 下関市市民プール営業時間 9：30～18：30
- (3) 長府扇町運動広場使用時間 9：00～17：00
- (4) 長府扇町運動広場休場日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 下関市体育施設の設置目的や公共施設であることを十分認識し、市民の福利厚生向上に寄与することに努める。
- (2) 安全対策を重視し、最少の経費で最大の効果をあげるため、効率的な運営及び経費節減可能な方策を考案し、下関市と連携して業務を遂行する。
- (3) 監督員、監視員に対する安全講習会を実施し、万全な知識及び技術を習得させ、万一の水難事故に対し、迅速かつ適切な処置を行うことのできる体制を構築する。
- (4) プール内への注水、水質検査、薬品等の投入等管理を適切に行い、常時快適な環境、水質基準の維持管理に努める。
- (5) ヨーヨー釣り大会等の自主事業を企画開催し、施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- (6) 安全な施設維持のため施設内外の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (7) 利用者に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれるように努める。
- (8) 利用者への好感度維持の為、定例会議、接遇研修及び各種研修会に参加し、職員の資質向上に努める。
- (9) 事故や災害が発生した場合、責任者指示のもと緊急連絡網、緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

4. 設備管理

- (1) プール循環ろ過機の運転・保守点検、水質検査、浄化槽維持管理、場内外除草、開場及び閉場時の清掃業務及び夜間機械警備による安全管理等については、業務委託により行う。
- (2) 開場中に監督員、監視員、窓口員、看護師を雇用し、業務遂行や安全管理について万全を期する。
- (3) 場内外の施設等を適時点検し、不良箇所の早期発見により事故防止に努める。
- (4) 長府扇町運動広場内の雑草等の環境整備、浄化槽の維持管理及び衛生管理を委託業者により行う。
- (5) 長府扇町運動広場内のトイレ、設置している体育器具及びグラウンド整備器具等を適時点検し、施設の維持管理に努める。

その他会計
 施設管理 6. 下関市市民プール
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	42,834	42,942	△ 108	
施設管理料	42,834	42,942	△ 108	
経常収益計	42,834	42,942	△ 108	
(2) 経常費用				
下関市市民プール事業費	37,634	37,878	△ 244	
2 給料手当	5,749	5,574	175	
3 臨時雇賃金	8,089	7,799	290	
4 退職給付費用	131	133	△ 2	
5 法定福利費	921	893	28	
9 通信運搬費	134	111	23	
12 手数料	183	393	△ 210	
14 消耗品費	652	784	△ 132	
15 修繕費	1,000	1,000	0	
16 印刷製本費	43	108	△ 65	
18 光熱水料費	5,780	6,337	△ 557	
19 賃借料	26	26	0	
20 保険料	271	287	△ 16	
22 租税公課	858	734	124	
25 委託費	13,797	13,699	98	
下関市市民プール管理費	5,200	5,064	136	
本社費	5,200	5,064	136	
経常費用計	42,834	42,942	△ 108	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市彦島体育館（下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行なう。

2. 営業

- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| (1) 使用時間 | 日曜日・祝日 | 9:00から17:00まで |
| | 月曜日～土曜日 | 9:00から22:00まで |
| (2) 休館日 | 12月28日から翌年1月4日まで | |

3. 管理運営

- (1) 下関市彦島体育館の設置目的や公共施設であることを十分認識し、下関市の施策を鑑みて、同調・協力する運営を基調とする。市民が余暇を楽しみながら、心身とも健康の向上を図ることができる活気のある施設を提供する。

また、より多くの市民に利用していただき喜んでいただけるよう、スポーツ振興を拠点としながらも、広い観点で施設価値を引き出せるよう運営努力する。

- (2) 幼児から中高年層まで幅広い世代を対象とした自主事業を実施し、市民との交流を図ることにより施設のPR、利用の増加に努める。

- (3) 利用者の利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムを効率的に活用するとともに、その普及にも努める。

また、年間主要行事の予定調整について、滞りなく完結できるよう努める。

- (4) 研修会への参加、職員同士による情報共有等の自己啓発を行うことにより、常に職員の資質向上を目指す。

- (5) 利用者の要望や各種スポーツに対するニーズを把握するため、アンケート調査等を行い、施設運営へ反映するように努める。

- (6) 地域自治会、住民、関係施設等への情報の発信・交換により、施設の認知及び利用の向上に努める。

- (7) 施設内の巡視点検を常時行い、安全確保、異常の早期発見、事故等の防止に努める。

- (8) 不測の事態に備え、また、事故や災害が発生した場合を想定し、所轄消防署と連携を図りながら、定期的に消火訓練や避難訓練を実施するとともに、緊急対応マニュアルによる最善の応急処置等を行えるよう努める。

4. 設備管理

- (1) 業務委託による体育館無人時の機械警備、施設清掃（ワックス掛け、窓・屋上清掃）、貯水槽の衛生管理、消防用設備保守点検の施設管理を実施する。

- (2) 体育館、庭球場及び多目的広場に設置している器具備品等については、適時点検を実施する。前項業務を含め、不良箇所の早期発見に繋げ、安全の確保及び使用に支障が出ないよう努める。

その他会計
施設管理 7. 下関市彦島体育館
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	21,845	636	22,481	21,969	0	21,969	512	
施設管理料	21,845	0	21,845	21,969	0	21,969	△124	
受講料収入	0	636	636	0	0	0	636	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	21,845	638	22,483	21,969	0	21,969	514	
(2) 経常費用								
下関市彦島体育館事業費	21,217	634	21,851	21,217	0	21,217	634	
2 給料手当	11,549	0	11,549	11,437	0	11,437	112	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	1,790	0	1,790	35	
8 旅費交通費	47	0	47	47	0	47	0	
9 通信運搬費	139	0	139	139	0	139	0	
14 消耗品費	79	60	139	100	0	100	39	
15 修繕費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	0	
16 印刷製本費	23	0	23	46	0	46	△23	
18 光熱水料費	4,477	0	4,477	4,505	0	4,505	△28	
19 賃借料	26	40	66	147	0	147	△81	
20 保険料	100	56	156	108	0	108	48	
21 諸謝金	0	452	452	0	0	0	452	
22 租税公課	717	26	743	687	0	687	56	
25 委託費	844	0	844	813	0	813	31	
下関市彦島体育館管理費	628	4	632	752	0	752	△120	
本社費	628	4	632	752	0	752	△120	
経常費用計	21,845	638	22,483	21,969	0	21,969	514	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市立美術館

事業計画書

1. 職員構成

職員3名、嘱託職員2名、合計5名をもって管理運営を行う。

2. 営業時間

(1) 開館時間 9:30～17:00 (入館は、16:30まで)

(2) 休館日 原則として、毎週月曜日とする。

また、1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までと、
下関市教育委員会が認めた臨時休館日とする。

3. 管理運営

(1) 観覧料の徴収事務、美術館入館者への受付案内、館内展示品の監視、図録の販売及び図録売払
代金徴収事務等の業務を行う。

(2) 公金及び観覧券の厳正なる管理に努める。

(3) 近隣の美術館及び博物館の情報を収集し、必要に応じて来館者に案内出来るよう努める。

(4) 展示物の知識を深め、適切な説明および対応が出来るよう努める。

(5) 図録の販売については、適性な在庫管理を行うとともに、各種展覧会に応じた陳列等を行い、
販売促進に努める。

(6) 接遇については、入館者に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応
じた適切な対応に努める。

(7) 美術館との連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を遂行する。

(8) 受託業務範囲内において、巡回点検等を実施し、人身事故、火災・盗難等防止のための監視体
制を強化するとともに、入館者への安全確保の向上に努める。

(9) 美術館が実施する消火訓練等に協力し、非常時の対応確認を行い、災害に備えるように努める。

(10) 職員の資質向上のため、各関係機関が開催する接遇研修等に参加し、業務に反映させるよう
努める。

(11) 事故や災害が発生した場合、美術館館長の指示のもと、各職員が行動する体制を作る。

その他会計

施設管理 8. 下関市立美術館

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	20,076	21,014	△ 938	
施設管理料	20,076	21,014	△ 938	
経常収益計	20,076	21,014	△ 938	
(2) 経常費用				
下関市立美術館事業費	19,308	19,451	△ 143	
2 給料手当	15,172	15,585	△ 413	
4 退職給付費用	391	0	391	
5 法定福利費	2,643	2,674	△ 31	
8 旅費交通費	21	20	1	
9 通信運搬費	79	79	0	
12 手数料	14	104	△ 90	
14 消耗品費	50	50	0	
19 賃借料	26	26	0	
22 租税公課	912	913	△ 1	
下関市立美術館管理費	768	1,563	△ 795	
本社費	768	1,563	△ 795	
経常費用計	20,076	21,014	△ 938	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市勤労者総合福祉センター

事業計画書

1. 職員構成

職員2名及び嘱託職員1名をもって管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 開館時間 平日 9：00 ～ 22：00
 日曜日 9：00 ～ 17：00
- (2) 休館日 国民の祝日及び12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

- (1) 設置目的「勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図る。」達成のため、最少の経費で最大の効果をあげるように効率的な運営に努め、経費削減可能な方策等を考案し、下関市と連携して業務の遂行に努める。
- (2) 勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図るため、会議室及びアリーナ（体育館）等活動の場を提供する。
- (3) 利用者増員に向けて利用者のニーズに対応した講座を健康スポーツ講座から7講座・教養文化講座から8講座、計15講座開講する。
- (4) 勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上、市民の余暇の充実を図り、施設の周知及び利用者増員を目的とした1日体験講座を適時開講する。
- (5) 適時利用者へのアンケートを行ない、下関市に報告するとともに、施設の改善に努める。
- (6) 地域交流企画として、長府地区の公立幼稚園・保育園に協力依頼をし、園児が作品を通じ親への感謝の気持ちを育む場を提供し、施設のPRと利用者増員を図ることを目的とした「大好きパパ・ママ」似顔絵展を開催する。
- (7) 長府扇町安全協議会の会員になることにより、地域との交流を図り、定期総会・長府企業フェスタ・名刺交歓会等に参加し、施設の宣伝を実施することで、利用者増員に努める。
- (8) 周辺企業を訪問し、パンフレットや文化講座等のチラシを配布することにより、施設の利用促進に努める。
- (9) ロビーを展示スペースとし、利用者へ情報を提供する。
- (10) 文化講座発表の場としてロビー展を開催し、受講者増員に努める。
- (11) 安全な施設維持のため施設内及び周辺の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (12) 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- (13) 職員の資質向上のため、施設内でのミーティング実施、施設間の連携で知識の習得や技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会にも参加する。
- (14) 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等行う。

4. 設備管理

- (1) 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、浄化槽維持管理、自動扉開閉装置保守点検、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- (2) 施設の備品等について、適時状況点検を実施し、利用者の安全確保及び使用に支障のないように努める。

9. 下関市勤労者総合福祉センター

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度		増減	備考
	指定管理事業	前年度 指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
事業収益	24,998	25,239	△ 241	
施設管理料	24,998	25,239	△ 241	
経常収益計	24,998	25,239	△ 241	
(2) 経常費用				
下関市勤労者総合福祉センター事業費	19,909	23,987	△ 4,078	
2 給料手当	9,386	13,218	△ 3,832	
4 退職給付費用	261	398	△ 137	
5 法定福利費	1,475	2,077	△ 602	
8 旅費交通費	77	81	△ 4	
9 通信運搬費	152	148	4	
11 広告宣伝費	13	13	0	
12 手数料	12	12	0	
14 消耗品費	177	199	△ 22	
15 修繕費	190	190	0	
16 印刷製本費	12	46	△ 34	
17 燃料費	5	5	0	
18 光熱水料費	3,230	3,144	86	
19 賃借料	139	154	△ 15	
20 保険料	12	12	0	
22 租税公課	584	785	△ 201	
23 支払負担金	22	17	5	
25 委託費	4,127	3,453	674	
27 行事費	35	35	0	
下関市勤労者総合福祉センター管理費	5,089	1,252	3,837	
本社費	5,089	1,252	3,837	
経常費用計	24,998	25,239	△ 241	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

長府庭園

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 開園時間 9:00～17:00
- (2) 休業日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、お客様に対し安心安全の確保・サービスの提供及び効率を向上させることに努める。
- (2) お客様に対してはおもてなしの心で接し、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々花々の美しさを感じ、楽しんで頂けるように努める。
- (3) 開園20周年を迎えるにあたり、長府観光協会にも協力をしていただき、イベント等を開催し、お客様の増員に努める。
- (4) 書院及び茶室を有効に活用して頂けるように施設のPRに努める。
- (5) 歳は年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、お客様の増員に努める。
- (6) お客様より要請があれば、職員が説明・案内を行いサービス向上に努める。
- (7) 地域との連携を図り、下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に努める。
- (8) 「孫文蓮」の開花に伴い、観賞会を実施、古布あそび・ひな飾り展等も自主企画を実施し、下関市の広報誌、報道関係等に情報提供することで、市民や周辺地域の方々への周知徹底を図り、お客様の増員に努める。
- (9) アンケートの実施を行いお客様の声を聞くことにより、要望等に応えるように努める。
- (10) 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災盗難防止の為に安全確保に努める。
万が一事故や災害が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い応急処置等を行う。
- (11) 職員資質向上のため、接遇研修等の開催や各種研修会等へ参加する。
- (12) 下関市が「しものせきエコマネジメントプラン」に基づく環境方針を制定していることを考慮し、省エネルギー、省資源及び廃棄物減量などの環境への負荷低減を図るよう、職員は基よりお客様、第三者委託業者にも指導の徹底を図る。

4. 設備管理

- (1) 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行う。

その他会計

施設管理 10. 長府庭園

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理事業	付随する自主事業	合計	指定管理事業	付随する自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	37,500	215	37,715	37,694	0	37,694	21	
施設管理料	37,500	0	37,500	37,694	0	37,694	△194	
商品販売収益	0	200	200	0	0	0	200	
販売手数料	0	15	15	0	0	0	15	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	37,500	217	37,717	37,694	0	37,694	23	
(2) 経常費用								
長府庭園事業費	35,433	213	35,646	35,522	0	35,522	124	
2 給料手当	11,561	0	11,561	11,621	0	11,621	△60	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	1,790	0	1,790	35	
8 旅費交通費	30	0	30	31	0	31	△1	
9 通信運搬費	129	0	129	151	0	151	△22	
11 広告宣伝費	40	7	47	32	0	32	15	
12 手数料	36	0	36	44	0	44	△8	
14 消耗品費	332	100	432	300	0	300	132	
15 修繕費	250	0	250	250	0	250	0	
16 印刷製本費	503	0	503	510	0	510	△7	
18 光熱水料費	3,150	0	3,150	2,987	0	2,987	163	
19 賃借料	88	2	90	281	0	281	△191	
20 保険料	6	0	6	6	0	6	0	
21 諸謝金	35	60	95	0	0	0	95	
22 租税公課	717	4	721	691	0	691	30	
25 委託費	16,340	0	16,340	16,430	0	16,430	△90	
29 商品仕入	0	40	40	0	0	0	40	
長府庭園管理費	2,067	4	2,071	2,172	0	2,172	△101	
本社費	2,067	4	2,071	2,172	0	2,172	△101	
経常費用計	37,500	217	37,717	37,694	0	37,694	23	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市ふれあい健康ランド

事業計画書

1. 職員構成

職員 9 名、嘱託職員 3 名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間

- (1) 開場時間 10:00～19:00
- (2) 休場日 水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日）
12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

- (1) 安全確保を最優先課題とし、人身事故を未然に防止するとともに、関係法令に基づいた施設管理を徹底して行うほか、緊急時における初期対応・関係機関への通報を適切かつ冷静に行う。
- (2) 幅広い世代の利用動機を高め、お客様の底辺拡大を目的とした自主事業及び自主企画事業を年間を通じて実施する。
 - ①自主事業：水泳教室、運動教室、リトミック教室、囲碁大会市長杯、介護予防教室（下関市より業務を受託し業務仕様書に基づき実施する）
 - ②自主企画事業：園児の絵画展覧会、市民の一日健康相談
- (3) 夏休み期間中の休場日に臨時営業を行いサービスの向上を図る。
- (4) 水泳用品をはじめ、オリジナルタオル、下関の特産品、地元野菜などを取り揃えた売店営業を行う。また、1階ロビーに清涼飲料水や野菜ジュース、乳飲料、アイスクリームなど健康に配慮した商品の自動販売機やマッサージチェア、足つぼマッサージ機を設置し、お客様へのサービス向上を図る。
- (5) 個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
- (6) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち、効率的・効果的な施設運営を図る。
- (7) 能力向上を目的とした内部研修や専門知識・技術の習得を目的とした外部研修を行うほか、避難誘導訓練・心肺蘇生などの救急救命訓練を行い、職員の資質向上を図る。
- (8) トラブルを未然に防止するため、設備機器の不備や説明の不備など、あらゆる面から想定される発生要因を見出し、防止対策を講じる。

4. 設備管理

- (1) 温水プール・浴場・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理する。
- (2) 高温水設備運転保守・法律に基づく検査業務など、専門的な知識・技術・器具等を必要とする業務については、専門業者に委託し、管理に万全を期する。

その他会計
 施設管理 11. 下関市ふれあい健康ランド
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理事業	付随する自主事業	合計	指定管理事業	付随する自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	121,000	7,478	128,478	121,000	360	121,360	7,118	
施設管理料	121,000	0	121,000	121,000	0	121,000	0	
介護予防事業収益	0	360	360	0	360	360	0	
受講料	0	7,118	7,118	0	0	0	7,118	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	121,000	7,480	128,480	121,000	360	121,360	7,120	
(2) 経常費用								
下関市ふれあい健康ランド事業費	108,972	7,470	116,442	109,738	360	110,098	6,344	
2 給料手当	40,375	0	40,375	42,481	0	42,481	△ 2,106	
3 臨時雇賃金	3,091	0	3,091	2,482	0	2,482	609	
4 退職給付費用	1,172	0	1,172	1,459	0	1,459	△ 287	
5 法定福利費	6,329	0	6,329	6,572	0	6,572	△ 243	
8 旅費交通費	338	47	385	307	0	307	78	
9 通信運搬費	250	4	254	224	0	224	30	
11 広告宣伝費	0	22	22	0	0	0	22	
12 手数料	122	6	128	1,767	0	1,767	△ 1,639	
13 消耗什器備品費	0	222	222	0	0	0	222	
14 消耗品費	3,653	274	3,927	4,049	253	4,302	△ 375	
15 修繕費	3,150	105	3,255	3,150	0	3,150	105	
16 印刷製本費	867	0	867	868	0	868	△ 1	
17 燃料費	6	0	6	6	0	6	0	
18 光熱水料費	23,739	0	23,739	23,739	0	23,739	0	
19 賃借料	539	2,772	3,311	564	101	665	2,646	
20 保険料	284	345	629	434	6	440	189	
21 諸謝金	0	3,314	3,314	0	0	0	3,314	
22 租税公課	2,711	191	2,902	2,680	0	2,680	222	
23 支払負担金	8	0	8	172	0	172	△ 164	
24 報酬	0	24	24	0	0	0	24	
25 委託費	22,189	0	22,189	18,784	0	18,784	3,405	
28 研修費	149	144	293	0	0	0	293	
下関市ふれあい健康ランド管理費	12,028	10	12,038	11,262	0	11,262	776	
本社費	12,028	10	12,038	11,262	0	11,262	776	
経常費用計	121,000	7,480	128,480	121,000	360	121,360	7,120	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

長府毛利邸

事業計画書

1. 職員構成

職員3名・嘱託職員1名をもって管理運営を行う。

2. 営業

(1) 利用時間 9:00～17:00

(2) 休業日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

(1) 下関市の管理下にある事業所として規約を遵守し、正しい業務の遂行、効率的・効果的な予算の執行、環境への負担軽減、個人情報取り扱い等、下関市と連携し適正に行っていく。また、空調・熱源・照明機器等の節減管理を徹底し、効率的な業務運営を行う。

(2) 白壁に囲まれた邸内の歴史的・文化的価値のある武家屋敷造りの母屋や日本庭園の造形と四季折々の趣が味わえるよう、日常の清掃整備や樹木の維持管理に努めるとともに、毎日、職員により母屋の各所に季節の山野草を生け、日常の清掃による清潔な場所、豊かな空間や静けさを生かした抹茶の提供、気持ちのよい接遇により、お客様がやすらぎの場として癒しのひと時を過ごせるよう、労力をいとわないおもてなしを心がけ、人が人を呼ぶ施設としてリピーターの増員を図る。

(3) 一般公開15周年を記念し、地元の観光関連と連携した春と秋の催し、観光キャンペーン主催の女子旅・歴女旅に併せた企画、シーモール下関での写真展、和の伝統文化にふれながら教養を高め趣味を深める講座や作品展の開催、庭園の季節の風情を生かした催しなど、地元や下関市の観光関連と連携した企画事業を20件実施し、施設の周知および入場者増員に努める。

(4) 下関市報やそれに伴う広報媒体、マスコミ関係、長府各戸への回覧板、各市へ配布されるフリーペーパー・情報誌等・下関市の観光や施設のホームページ・イベント情報サイトの活用・JR各駅の毛利邸専用掲示コーナー、観光関連施設、観光業者等への積極的な情報発信、また、各所へのパンフレット設置等により、地域はもとより観光客への情報提供にも努め、新鮮な話題の提供および観光スポットとしてアピールする広報宣伝により誘致を図り、幅広い周知と集客に努める。

(5) 2カ所に用意する感想ノートへの記入や定期的なアンケートを実施し、お客様からの要望や意見の把握に努め、可能な限り検討し、施設のあり方や職員の姿勢に反映させる。また、接遇研修や各種研修に積極的に参加し、情報を共有しながら職員の資質の向上や自己啓発を高め、お客様の満足度をあげるサービス向上に努める。

(6) お客様より要請があれば、職員が母屋の説明・案内を行う。また、こども文化パスポート事業の参加や校外学習での質問対応、インターンシップの受け入れなど積極的に行い、歴史的・文化的価値のある施設のよさを伝え、日本文化について学ぶ場としての役割を認識する。

(7) 職員による邸内の巡回を度々行い異常の有無をチェックし、常にお客様の安全確保に努める。

また、定期的に消火設備を点検し災害に備え、万一災害や事故が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い、報告・連絡・確認を怠りなく実施する。

4. 設備管理

(1) 庭園の樹木等の維持管理、環境整備、水景設備の保守、消防設備保守、夜間及び休業日の機械警備の安全管理を、それぞれ業務委託とする。

(2) 委託業者や工事施工業者への指導・監督体制を強化し、業務終了の都度、報告書の提出を義務付け、管理に万全を期す。

その他会計
 施設管理 12. 長府毛利邸
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	26,499	2,354	28,853	26,712	0	26,712	2,141	
施設管理料	26,499	0	26,499	26,712	0	26,712	△213	
飲食料収益	0	2,101	2,101	0	0	0	2,101	
商品販売収益	0	253	253	0	0	0	253	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	26,499	2,356	28,855	26,712	0	26,712	2,143	
(2) 経常費用								
長府毛利邸事業費	25,129	2,346	27,475	25,342	0	25,342	2,133	
2 給料手当	13,278	0	13,278	13,292	0	13,292	△14	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	2,083	0	2,083	2,062	0	2,062	21	
8 旅費交通費	69	0	69	73	0	73	△4	
9 通信運搬費	177	10	187	178	0	178	9	
11 広告宣伝費	69	70	139	69	0	69	70	
12 手数料	24	0	24	34	0	34	△10	
14 消耗品費	509	695	1,204	450	0	450	754	
15 修繕費	210	0	210	302	0	302	△92	
16 印刷製本費	328	0	328	491	0	491	△163	
17 燃料費	20	10	30	0	0	0	30	
18 光熱水料費	1,290	0	1,290	1,025	0	1,025	265	
19 賃借料	26	0	26	279	0	279	△253	
20 保険料	7	0	7	10	0	10	△3	
21 諸謝金	30	280	310	0	0	0	310	
22 租税公課	814	15	829	788	0	788	41	
24 報酬	0	126	126	0	0	0	126	
25 委託費	5,804	0	5,804	5,891	0	5,891	△87	
29 商品仕入	0	1,140	1,140	0	0	0	1,140	
長府毛利邸管理費	1,370	10	1,380	1,370	0	1,370	10	
本社費	1,370	10	1,380	1,370	0	1,370	10	
経常費用計	26,499	2,356	28,855	26,712	0	26,712	2,143	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

粗大ごみ等受付センター

事業計画書

1. 職員構成

職員 5 名、嘱託職員 3 名及び日々雇用職員をもって業務を行なう。

2. 営業

- (1) 業務時間 月曜日 8:15~19:00
火~金曜日 8:15~17:00
- (2) 電話受付時間 月曜日 9:00~19:00
火~金曜日 9:00~16:00
- (3) 休業日 土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から翌年1月3日まで

3. 業務

- (1) 下関市の各家庭から排出される粗大ごみ等の収集申込みを電話及びインターネットにより受付し、受付伝票及び収集地図を作成した後、これを的確に下関市（クリーン推進課）へ回付する。
- (2) 粗大ごみ等排出に関する規則の変更に対応し、下関市（クリーン推進課）からの指示に従い、お申込みのお客様へ対する変更後の規則の周知活動に貢献する。
- (3) 電話受付時間のオペレータは原則 8 名配置とし、その他の職員により収集地図作成業務、受付票整理・チェック及び集計業務に従事する。※月曜日 17:00~19:00 のオペレータについては、通常期 4 名、繁忙期 8 名を配置する。
- (4) お客様との疎通を的確に行い、下関市（クリーン推進課）と連携することで、相違遺漏の無い業務に努める。また、お客様からご意見・ご要望があった場合、その内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り市民サービスの向上に反映するよう努める。
- (5) 電話応対における検定試験の受験、各種研修会への参加及び電話応対コンクール等競技大会へ出場することで、自己研鑽を積極的に取り組み、高度な実践力・指導力をもつオペレータを育成することに努める。
- (6) 職場内研修（OJT）やスタッフミーティングを積極的に行い、職員の電話応対技術の向上及び受付業務における共通認識の向上に努める。
- (7) 電話応対チェックリストを使用し、数値化した自己分析結果をもとに、自身の電話応対における課題を明確化するとともに、電話応対技術の水準維持及び向上に努める。
- (8) 全オペレータのデスクに卓上鏡を設置し、「笑声」を実践した、お客様から好感をもっていただける質の高い電話応対に努める。※「笑声」とは表情の見えない電話応対において重要な技術。顔の表情を「笑顔」で発声することにより、明るく聞き心地のよい声で電話応対を実践すること。
- (9) 職員 1 人 1 人が粗大ごみ等受付センターの代表であるという共通意識のもと、お客様に対し責任をもった上質のサービスを提供することに努める。
- (10) 個人情報取扱特記事項を遵守し、個人情報保護の重要性を認識するとともに、個人の権利利益を害することのないよう努める。
- (11) しものせきエコマネジメントプランに基づき、環境に配慮した業務及び活動、また職員の自己啓発に努める。
- （環境に配慮した業務、活動、自己啓発）
- ・環境ラベリング制度対象製品、リサイクル可能製品の購入に努める。
 - ・車両からの排出ガス低減のため、ノーマイカー及びエコドライブの励行に努める。
 - ・職員の自己啓発を目的として、環境配慮に対する知識及び認識を深める学習に努め、環境配慮意識の高い職員を育成する。

其他会計
 施設管理 13. 粗大ごみ等受付センター
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	45,317	47,703	△ 2,386	
施設管理料	45,317	47,703	△ 2,386	
経常収益計	45,317	47,703	△ 2,386	
(2) 経常費用				
粗大ごみ等受付センター事業費	42,826	44,912	△ 2,086	
2 給料手当	26,011	35,878	△ 9,867	
3 臨時雇賃金	7,020	0	7,020	
4 退職給付費用	651	0	651	
5 法定福利費	4,782	5,914	△ 1,132	
8 旅費交通費	898	28	870	
14 消耗品費	1,476	1,002	474	
22 租税公課	1,988	2,090	△ 102	
粗大ごみ等受付センター管理費	2,491	2,791	△ 300	
本社費	2,491	2,791	△ 300	
経常費用計	45,317	47,703	△ 2,386	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場

事業計画書

1. 職員構成

職員2名、嘱託職員9名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 利用時間 日曜日・祝日 9:00～17:00
 月曜日～土曜日 9:00～22:00
- (2) 休館日 12月28日～翌年1月4日まで

3. 管理運営

(1) 設置目的に基づいた管理について

「下関市体育施設の設置等に関する条例」等諸規則を遵守し、市民の健康の増進と体育の振興・普及に資するための公共施設であることを十分認識し、平等かつ公平な利用を確保して、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適正な管理運営に努める。

(2) 下関市との連携について

適正な管理運営を図るため、下関市と管理運営全般に関する意見交換、情報を共有するなど密接な連携を保ち、運営方針について共通認識を持つことにより、施設の効果的・効率的な活用に取り組む。

(3) 施設の安全・安心確保について

「安全点検マニュアル表」に基づいた管理を徹底し、施設や機器の異常等をいち早く発見することによる危険要因の排除、事故や災害の未然防止・安全確保に努め、万が一事故等が発生した場合は、責任者の指示の下、緊急対応マニュアルにより速やかな対応と適切な処置を行う。

所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を定期的実施する。

(4) 施設利用について

利用者に対する接遇を徹底し、広く市民に親しまれる施設になるように努め、周辺地域や市教育機関等に施設利用の発信を行い、利用者の増加を図る。

各施設の予約については、利用者の利便性向上のため、下関市公共予約システムの普及に努める。また、アンケート調査を実施することにより、利用者の声を反映し、充実した施設運営に努める。

(5) 職員の資質向上について

施設内でのミーティングの実施、接遇研修など各種研修会の受講を実施し、職員の資質向上、知識の習得や技術の向上及びサービスの充実を図る。

(6) 自主事業

体育の振興・普及と地域住民との交流を目的とし、施設利用の呼び水として自主事業を実施し、施設PR及び利用者増を図る。

4. 設備管理

(1) 環境の美化及び館内の設備・備品等の点検について

利用者や周辺散策者の安全確保及び美観維持のため、環境整備に努める。

照明設備、体育器具等については、利用者の安全確保と利用に支障が出ないよう適時点検を行う。

(2) 再委託業務について

規定されている定期的な検査・点検等の維持管理については、関係法令を鑑み、専門業者により確実に実施する。

その他会計

施設管理 14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	75,580	27,985	47,595	
施設管理料	75,580	27,985	47,595	
経常収益計	75,580	27,985	47,595	
(2) 経常費用				
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場事業費	73,371	26,985	46,386	
2 給料手当	23,056	22,053	1,003	
3 臨時雇賃金	3,942	0	3,942	
4 退職給付費用	261	145	116	
5 法定福利費	3,672	3,502	170	
8 旅費交通費	311	0	311	
9 通信運搬費	778	0	778	
14 消耗品費	1,335	0	1,335	
15 修繕費	3,500	0	3,500	
16 印刷製本費	45	0	45	
17 燃料費	40	0	40	
18 光熱水料費	18,190	0	18,190	
19 賃借料	1,411	0	1,411	
20 保険料	734	0	734	
22 租税公課	1,599	1,285	314	
25 委託費	14,497	0	14,497	
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場管理費	2,209	1,000	1,209	
本社費	2,209	1,000	1,209	
経常費用計	75,580	27,985	47,595	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市満珠荘

事業計画書

1. 職員構成

職員 5 名、嘱託職員 2 名及び日々雇用職員をもって管理業務を行う。

2. 営業

- | | | |
|----------|----------|--------------------------------|
| (1) 利用時間 | 開館時間 | 7:00～22:00 |
| | 宿泊時間 | チェックイン15:00から、チェックアウト翌日10:00まで |
| | 入浴時間 | 6:00～23:00 |
| | 日帰入浴 | 9:00～22:00 (受付21:00まで) |
| | ※火曜日・水曜日 | 13:00～22:00 (受付21:00まで) |

- (2) 休館日 年中無休

3. 管理運営

- (1) 年間 5,000 人の宿泊者及び年間 36,500 人の日帰り入浴者の獲得を目標とする。
- (2) 宿泊者獲得に向け、1 年目 (24 年度) の動向分析を基に、宿泊企画商品等の積極的な販売、新規の文化講座、健康講座、館内イベント、ロビー展示等、自主事業の実施により、施設の目的を最も効率的、効果的に達成する。また、日帰り入浴者獲得に向け、前年度実施したスタンプカード (発行数約 2,000 枚) の継続を行うとともに、脱衣場及び浴場内の清掃を徹底し、常に清潔感を保つことに努め、リピーターの増員を図る。なお、宿泊施設の管理ノウハウを活用した運営を行うとともに、新しいサービス提供によりリピーター利用率の向上に努めることとし、適正な管理運営を行う。
- (3) 平等・公平な利用を確保するため、全ての利用者に等しく快適な施設環境を提供するとともに、運営に関する全ての情報は当施設や市のホームページ、市報など、多様な媒体を通じて広く発信する。
- (4) 地元利用促進のため、社有車による送迎など利用しやすいサービスを実施し、老人会・自治会・企業等の団体誘致に努める。
- (5) 新規利用獲得に努める一方、サービスの提供によるリピーター確保のため、全ての利用者に対し一斉の接遇に努め、客室環境の充実を図るとともにアンケートによるご意見・ご要望に対し迅速に対応する。
- (6) 四季を通じて地元の食材を生かした魅力ある料理の開発、販売を行う。
- (7) 売店においては、お客様のニーズに合わせた商品の仕入れ管理を徹底し、販売増に繋げる。
- (8) 機械設備に精通した日々雇用職員の雇用を行い、機械設備・安全設備・施設内外の巡視点検を実施、危険要因の排除により人身事故、火災、盗難等の事故防止に努め、安心安全な施設を維持する。
- (9) 電気、水道、ガス、消耗品等の使用を必要最低限とするよう全職員によるコスト管理を徹底し、経費節減に努める。
- (10) 所轄消防署との連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施、有事における万全を期する。
- (11) 不測の事態が発生した場合は、緊急マニュアルに基づき速やかに対応し、必要な措置を適切に講じる。
- (12) 個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する
- (13) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

4. 設備管理

- (1) 職員による機械設備の日常点検を行い、特殊な設備については専門業者による定期点検を実施する。また、異常の早期発見により機能保全に努める。
- (2) 職員による飲料水・浴場水の日常管理を行なうほか、配管洗浄・貯水槽清掃・水質検等、必要な措置について専門業者により実施、適正な水質管理に万全を期する。
- (3) 厨房の給排水配管及び空調設備等については特に留意し、適正な環境維持に努めることにより衛生管理に万全を期し食中毒等重大事故を防止する。
- (4) 自動販売機等、設置機器の正常な機能保全に努める。

その他会計

15. 満珠荘

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	116,818	90,506	26,312	
施設管理料	1,175	0	1,175	
施設利用料	28,332	34,365	△ 6,033	
飲食料収益	68,277	34,721	33,556	
入浴料収益	16,318	15,425	893	
売店収入	135	5,995	△ 5,860	
販売手数料	1,477	0	1,477	
自動販売機収益	1,008	0	1,008	
遊技機使用料	96	0	96	
雑収益	2	2	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	1	1	0	
経常収益計	116,820	90,508	26,312	
(2) 経常費用				
満珠荘事業費	116,810	86,742	30,068	
2 給料手当	28,076	25,987	2,089	
3 臨時雇賃金	18,600	5,458	13,142	
4 退職給付費用	805	665	140	
5 法定福利費	6,054	3,738	2,316	
8 旅費交通費	520	506	14	
9 通信運搬費	640	486	154	
10 減価償却費	2,256	0	2,256	
11 広告宣伝費	800	300	500	
12 手数料	111	906	△ 795	
13 消耗什器備品費	300	124	176	
14 消耗品費	1,891	514	1,377	
15 修繕費	250	400	△ 150	
16 印刷製本費	470	579	△ 109	
17 燃料費	60	183	△ 123	
18 光熱水料費	15,380	16,867	△ 1,487	
19 賃借料	4,470	5,511	△ 1,041	
20 保険料	161	131	30	
21 諸謝金	0	80	△ 80	
22 租税公課	3,314	2,588	726	
23 支払負担金	20	29	△ 9	
24 報酬	284	350	△ 66	
25 委託費	9,974	5,656	4,318	
29 商品仕入	288	3,465	△ 3,177	
30 原材料費	22,086	12,219	9,867	
満珠荘管理費	10	0	10	
本社費	10	0	10	
経常費用計	116,820	86,742	30,078	
評価損益等調整前経常増減額	0	3,766	△ 3,766	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	3,766	△ 3,766	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	△ 7,900		△ 7,900	
一般正味財産期末残高	△ 7,900	0	△ 7,900	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 7,900	0	△ 7,900	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市営宿舎サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）

事業計画書

1. 職員構成 下関市営宿舎サングリーン菊川（以下、「サングリーン菊川」という。）は、職員5名、日々雇用職員、下関市菊川温泉プール（以下、「菊川温泉プール」という。）は職員1名、嘱託職員1名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。
2. 営業時間
 - (1) サングリーン菊川
開館時間 7:00～22:00、宿泊時間 チェックイン 15:00 からチェックアウト翌日 10:00 まで
入浴時間 6:30～23:00、日帰入浴 11:00～21:00、休館日 年中無休
 - (2) 菊川温泉プール
開場時間 4月から10月まで 10:00～20:00、11月から3月まで 13:00～20:00
休館日 12月28日から翌年1月4日まで
3. 管理運営
 - (1) 菊川地区唯一の宿泊施設として、また全国でもめずらしい温泉プールとして、サングリーン菊川と菊川温泉プールを一体管理することで、同地区を訪れる多くのお客様を受け入れるとともに、ご満足いただけるサービスを提供できるよう適正な運営を行う。
 - (2) サングリーン菊川のセールスポイントである「地産地消で季節感のある料理」「良質で様々な効能のある温泉」「団体利用の誘致には欠かせない送迎バス」をPRし提供することで、市民の方々をはじめ、観光客の誘致に努める。
 - (3) 菊川温泉プールでは、幼児から高齢者まで、更にはリハビリ等で利用されている身体の不自由な方々も安心して利用できる健康増進の場を提供し、市民の皆様の福利向上に寄与する。
 - (4) 両施設においてお客様アンケートを実施し、可能な限り施設運営へ反映する。
 - (5) ホームページによる最新の情報提供をはじめ、市報や情報紙、折込チラシなどタイムリーな広報活動を行い集客に努める。
 - (6) 両施設が公共施設であることを十分に認識し、職場内研修の実施・外部研修へ参加し、平等・公平を旨とするサービスの向上に努めると共に、お客様ひとりひとりに一期一会の接遇を行う。
 - (7) 施設の衛生管理については正しい知識のもと日々適正に清掃及び消毒等処置を行い、食中毒やレジオネラ属菌の発生等、施設運営に致命的な損害を加える事故の防止に対し万全を期する。
 - (8) 電気、水道をはじめとする光熱水料費、事務用品等の消耗品費、料理食材である原材料費などについて、全職員がコスト・省エネルギーに対する意識を持ち不要な経費削減に取り組む。
 - (9) 所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施する。また、不測の事態に備え、緊急対応マニュアルを整備するとともに、発生時には適切に対応する。
 - (10) 下関市と密接な連携を取り、共通認識のもと効率的・効果的な施設運営に努める。
 - (11) 個人情報の保護に関する法律をはじめとする各種条例・規則等を遵守し、個人情報の適正な管理及び保護に努める。
4. 設備管理
 - (1) 機械設備の日々点検は職員により行い、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、専門的知識を要する点検等においては、専門業者へ業務委託しその実施を監督することとする。
 - (2) 厨房機器及び浴場・プールの水質管理に関する機器については専門業者による保守・点検を実施し、「安心・安全」な環境の提供に努めると共に、重大事故の未然防止に万全を期する。

その他会計

16. サングリーン菊川

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度(指定管理事業)			前年度(指定管理事業)			増減	備考
	サングリーン菊川	菊川温泉プール	合計	サングリーン菊川	菊川温泉プール	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	121,360	30,266	151,626				151,626	
施設管理料	3,500	30,266	33,766				33,766	
施設利用料	26,847	0	26,847				26,847	
飲食料収益	76,496	0	76,496				76,496	
入浴料収益	11,741	0	11,741				11,741	
売店事業収益	1,454	0	1,454				1,454	
自動販売機収益	604	0	604				604	
手数料	718	0	718				718	
雑収益	831	0	831				831	
受取利息	1	0	1				1	
雑収益	830	0	830				830	
経常収益計	122,191	30,266	152,457	0	0	0	152,457	
(2) 経常費用								
サングリーン菊川事業費	120,547	30,189	150,736				150,736	
2 給料手当	19,587	6,526	26,113				26,113	
3 臨時雇賃金	23,108	4,666	27,774				27,774	
4 退職給付費用	579	138	717				717	
5 法定福利費	3,368	1,071	4,439				4,439	
8 旅費交通費	539	64	603				603	
9 通信運搬費	788	180	968				968	
11 広告宣伝費	1,049	0	1,049				1,049	
12 手数料	2,502	163	2,665				2,665	
14 消耗品費	5,368	1,342	6,710				6,710	
15 修繕費	578	201	779				779	
16 印刷製本費	105	95	200				200	
17 燃料費	8,111	6,567	14,678				14,678	
18 光熱水料費	11,163	5,948	17,111				17,111	
19 賃借料	3,001	81	3,082				3,082	
20 保険料	271	57	328				328	
22 租税公課	3,762	604	4,366				4,366	
23 支払負担金	80	12	92				92	
24 報酬	555	0	555				555	
25 委託費	5,861	2,474	8,335				8,335	
28 研修費	12	0	12				12	
29 商品仕入	1,050	0	1,050				1,050	
30 原材料費	29,072	0	29,072				29,072	
31 寄付金	38	0	38				38	
サングリーン菊川管理費	1,644	77	1,721				1,721	
本社費	1,644	77	1,721				1,721	
経常費用計	122,191	30,266	152,457	0	0	0	152,457	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

売店

下関市より指定管理者の指定を受けた長府庭園及び下関市ふれあい健康ランドにおいて売店営業を、また、下関市が管理する施設に自動販売機を設置し、来場されるお客様のサービス向上や利便性を確保する。

事業計画書

1. 職員構成

職員2名、嘱託職員1名をもって、独立採算で売店経営の健全な運営を行う。

2. 管理運営

- (1) 施設の良さを生かした対面販売を行い、お客様の購買意欲を高める。
- (2) 施設の特徴にあった商品構成、また季節感ある商品レイアウトや装飾を行うことにより、お客様の購買意欲を高める。
- (3) 売店はおお客様の利便性向上を目的とするだけでなく、施設の魅力発信の一端を担っているという認識のもと、心を込めたお客様対応を心がけ施設のイメージアップを図る。
- (4) 賞味期限や使用期限等、商品管理を徹底し「安全な」商品をお客様へ販売する。
- (5) 周辺地域及び市の観光行政と連携を図り、積極的なPR活動に努める。
- (6) 飲料水自動販売機（市内32カ所58台）の管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努める。
- (7) 飲料水自動販売機設置業者と連携し、省電力化できる機器取付等、節電の推進を行う。
- (8) お客様のニーズの把握に努め、売店商品仕入れ及び商品開発を行う。
- (9) 売上金の管理については、安全かつ厳正を期するよう努める。
- (10) 火の山展望台に望遠鏡、下関市ふれあい健康ランドにマッサージ機、彦島体育館等に公衆電話機を設置し、観光や施設利用されるお客様へのサービス向上に努める。
- (11) 長府庭園一の蔵の2階を、各種作品展示のため年間計画により有効活用し、福利厚生への向上への寄与と施設利用者の増加及び増収を図る。
- (12) 物損害や万一の賠償等、各店舗の管理運営に際し万全を期するため、損害賠償保険に加入する。

3. 設備管理

売店2店舗においては、お客様の安全確保のため、店内レイアウトの変更等商品配置の見直しを図り、売り場の改善に努める。

その他会計

17. 売店

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
事業収益	13,651	13,712	△ 61	
売店事業収益	593	623	△ 30	
販売手数料	4,353	4,759	△ 406	
自動販売機収益	6,429	5,991	438	
遊技機使用料	421	637	△ 216	
実費弁償金収益	1,855	1,702	153	
雑収益	326	332	△ 6	
受取利息	19	25	△ 6	
雑収益	307	307	0	
経常収益計	13,977	14,044	△ 67	
(2) 経常費用				
売店事業費	13,887	14,012	△ 125	
2 給料手当	7,626	7,801	△ 175	
4 退職給付費用	197	197	0	
5 法定福利費	1,181	1,130	51	
8 旅費交通費	108	126	△ 18	
9 通信運搬費	141	201	△ 60	
12 手数料	10	40	△ 30	
13 消耗什器備品費	30	30	0	
14 消耗品費	209	229	△ 20	
15 修繕費	53	53	0	
16 印刷製本費	11	11	0	
18 光熱水料費	1,910	1,559	351	
19 賃借料	831	833	△ 2	
20 保険料	25	30	△ 5	
22 租税公課	481	549	△ 68	
23 支払負担金	8	8	0	
24 報酬	315	420	△ 105	
26 交際費	60	60	0	
27 行事費	184	141	43	
29 商品仕入	507	594	△ 87	
売店管理費	70	0	70	
本社費	70	0	70	
経常費用計	13,957	14,012	△ 55	
評価損益等調整前経常増減額	20	32	△ 12	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	20	32	△ 12	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	20	32	△ 12	
一般正味財産期首残高	55,424	54,627	797	
一般正味財産期末残高	55,444	54,659	785	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	55,444	54,659	785	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

駐車場

山口県が所有する土地について、占用許可を得て月極駐車場として管理運営を行うもの。

事業計画書

1. 職員構成 嘱託職員1名を配置し、管理業務を行う。
2. 利用時間 0:00～24:00 年中無休
3. 利用可能台数
 - (1) 関彦橋駐車場 70台(第1:35台、第2:11台、第3:24台)
 - (2) 筋川駐車場 26台
 - (3) 迫町駐車場 53台
4. 業務内容
 - (1) 使用料の徴収事務、利用者への受付案内を行う。
 - (2) 使用料の取扱については、安全かつ厳正なる管理に努める。
 - (3) 接遇については、利用者等に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応じた適切な対応に努める。
 - (4) 事故や災害等が発生した場合、速やかに対応する。
 - (5) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
 - (6) 駐車場に利用促進案内等を掲示し、利用台数の増加を図る。
5. 設備管理

職員による定期的な巡回点検等を行い、危険要因を排除し、入出庫の円滑化や利用者の安全確保及び利便性の向上に努める。

また、場内清掃や植栽の剪定等を行い、美観の維持にも努める。

その他会計

18. 駐車場

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	6,120	6,024	96	
駐車場	6,120	6,024	96	
雑収益	5	2	3	
受取利息	1	1	0	
雑収益	4	1	3	
経常収益計	6,125	6,026	99	
(2) 経常費用				
駐車場事業費	6,115	6,000	115	
2 給料手当	1,733	3,189	△1,456	
5 法定福利費	273	272	1	
9 通信運搬費	83	83	0	
11 広告宣伝費	27	0	27	
12 手数料	10	0	10	
14 消耗品費	171	196	△25	
15 修繕費	483	483	0	
16 印刷製本費	0	27	△27	
17 燃料費	18	18	0	
18 光熱水料費	341	341	0	
19 賃借料	647	823	△176	
20 保険料	17	0	17	
22 租税公課	223	174	49	
24 報酬	315	0	315	
25 委託費	394	394	0	
32 予備費	1,380	0	1,380	
駐車場管理費	10	0	10	
本社費	10	0	10	
経常費用計	6,125	6,000	125	
評価損益等調整前経常増減額	0	26	△26	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	26	△26	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	26	0	26	
一般正味財産期末残高	26	0	26	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	26	0	26	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

平成25年度

法人会計内訳

事業計画内訳書

収支予算内訳書

本 社

事業計画書

1. 事務局の体制

- ア. 常勤役員 理事長 1 名、専務理事 1 名
- イ. 職員数 職員 6 名をもって管理運営を行う。
- ウ. 動的連絡体制 連絡車 2 台（運搬車 1 台含む）

2. 事務局の運営

下関市より指定管理者の指定または委託を受けた施設の適正な管理運営を行うとともに、自主企画事業及びこれらに必要な付帯事業について、下関市及び関係各機関との連絡調整等緊密な連携を図り、効率的かつ効果的な運営を進める。

施設管理業務を適正に遂行するために、各事業所の指導及び連絡調整を行い、次の業務を行う。

- ア. 評議員会、理事会の開催に関すること
- イ. 事業計画及び収支予算案等の策定を行う。
- ウ. 事業報告及び決算を行う。
- エ. 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- オ. 全事業所の契約に関すること。
- カ. 全事業所の出納事務に関すること。
- キ. 職員の資質向上を目的として研修を実施する。
- ク. 必要に応じ、管理事務所の責任者を集め責任者会議を実施する。

3. 各事業所への指導

- ア. 「最少経費で最大効果を上げること」を目的とし、各事業の効率的、かつ効果的な運営を図るために管理事務所を設置し、当該事業の掌握事務を管理する責任者として役付職員を配置し、業務・事務処理を行うよう指導する。
- イ. 責任者の指導のもと、前例や慣例の踏襲に甘んじることなく、「サービスの向上」、「利用者の増大」、そして「収益の向上」を目的とした新規事業、企画等を立案・実施できるよう促す。
- ウ. 常に、職員による巡視点検・監視体制の強化をはかり、利用者の安全管理及び安全確保に努めるよう指導する。
- エ. 個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失、き損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずるよう指導する。

4. 事務局の計画

- ア. 事務取扱方法の合理化推進について
各事業所において、必要な経費の支出の事務取扱等について、整理統一、決裁区分の見直し、処理の簡素化を図り、事務効率の改善を実施し合理化を図る。
- イ. ITの有効活用について
インターネットを利用して、各事業所への情報伝達の迅速化及び事務改善に努める。
- ウ. 公社ホームページの公開
公式ホームページを作成公開し、当管理公社の事業内容の紹介、各事業所の情報発信、求人案内等を行い広報に努める。

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	12		12	12		12	0	
基本財産受取利息	12		12	12		12	0	
管理費収益	41,282	0	41,282	32,677	0	32,677	8,605	
本社管理費収益	41,282	0	41,282	32,677	0	32,677	8,605	
火の山地区観光施設	1,120	0	1,120	1,698	0	1,698	△ 578	
火の山ロープウェイ	467	0	467	0	0	0	467	
下関市勤労青少年ホーム	2,699	0	2,699	712	0	712	1,987	
唐戸市場駐車場	3,205	0	3,205	2,687	0	2,687	518	
下関市長府体育館	102	0	102	344	0	344	△ 242	
下関市市民プール	5,200	0	5,200	5,064	0	5,064	136	
下関市彦島体育館	632	0	632	752	0	752	△ 120	
下関市立美術館	768	0	768	1,563	0	1,563	△ 795	
下関市勤労者総合福祉センター	5,089	0	5,089	1,252	0	1,252	3,837	
長府庭園	2,071	0	2,071	2,172	0	2,172	△ 101	
下関市ふれあい健康ランド	12,038	0	12,038	11,262	0	11,262	776	
長府毛利邸	1,380	0	1,380	1,370	0	1,370	10	
粗大ごみ等受付センター	2,491	0	2,491	2,791	0	2,791	△ 300	
スポーツセンター	2,209	0	2,209	1,000	0	1,000	1,209	
サングリーン菊川	1,721	0	1,721	0	0	0	1,721	
満珠荘	10	0	10	0	0	0	10	
売店	70	0	70	0	0	0	70	
駐車場	10	0	10	0	0	0	10	
菊川温泉プール	0	0	0	10	0	10	△ 10	
雑収益	35	1	36	51	1	52	△ 16	
受取利息	34	1	35	36	1	37	△ 2	
雑収入	1	0	1	15	0	15	△ 14	
経常収益計	41,329	1	41,330	32,740	1	32,741	8,589	
(2) 経常費用								
本社管理費	41,329	1,963	43,292	32,740	2,725	35,465	7,827	
1 役員報酬	6,452	0	6,452	5,370	0	5,370	1,082	
2 給料手当	20,371	0	20,371	14,836	0	14,836	5,535	
3 臨時雇賃金	51	0	51	50	0	50	1	
4 退職給付費用	1,108	0	1,108	930	0	930	178	
5 法定福利費	4,026	0	4,026	3,031	0	3,031	995	
6 福利厚生費	610	239	849	0	1042	1,042	△ 193	
7 会議費	39	0	39	0	0	0	39	
8 旅費交通費	93	479	572	95	318	413	159	
9 通信運搬費	517	0	517	435	0	435	82	
12 手数料	153	71	224	782	303	1,085	△ 861	
14 消耗品費	421	63	484	413	126	539	△ 55	
15 修繕費	53	53	106	21	53	74	32	
16 印刷製本費	23	0	23	23	0	23	0	
17 燃料費	130	63	193	118	126	244	△ 51	
18 光熱水料費	540	0	540	450	0	450	90	

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
19 賃借料	574	240	814	1,189	240	1,429	△ 615	
20 保険料	700	83	783	0	103	103	680	
21 諸謝金	0	0	0	100	0	100	△ 100	
22 租税公課	1,677	37	1,714	1,222	37	1,259	455	
23 支払負担金	105	5	110	105	277	382	△ 272	
24 報酬	0	50	50	0	50	50	0	
25 委託費	3,465	0	3,465	3,465	0	3,465	0	
26 交際費	105	50	155	105	50	155	0	
28 研修費	116	530	646	0	0	0	646	
経常費用計	41,329	1,963	43,292	32,740	2,725	35,465	7,827	
評価損益等調整前経常増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
一般正味財産期首残高	11,000	122	11,122	11,000	284	11,284	△ 162	
一般正味財産期末残高	11,000	△ 1,840	9,160	11,000	△ 2,440	8,560	600	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	11,000	△ 1,840	9,160	11,000	△ 2,440	8,560	600	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。